

東京中会 礼拝状況アンケート結果

アンケート内容

【質問1】 貴教会・伝道所の礼拝と諸集会についてお尋ねします。

①礼拝はどうしておられますか。 ②聖餐は行っておられますか。 ③讃美歌は通常どおり歌っておられますか。 ④祈祷会や諸集会はどうしておられますか。

【質問2】 会員や求道者にどのような影響が見られますか。

【質問3】 教会・伝道所としてお困りのことはありますか。

【質問4】 この事態に直面して、御教会・伝道所の祈りの課題をお知らせください。

(回答データ受付順)

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
1	茅ヶ崎東教会	3月29日より4月26日まで中止(その後も中止の可能性あり)	3月より中止。		全て中止。小会は定期、臨時を含めすべて当面の間メールやWeb会議で行うことも検討。	自主的に自宅隔離している者、自宅待機している者がいる。	3月に葬儀があり、教会で行った。今後どうするかが課題。	今後礼拝その他の集會が行われないなかで会員の心のケアをどうするか。
2	西経堂伝道所	時間を短くして行っている。体調不良の場合は無視をしない、礼拝中のマスク着用、前後左右の間隔を空ける、換気に心掛ける。	中止している。	29日から歌わないか短縮する予定。	休会			
3	湘南教会	通常通り行っています。着座は開けて、マスクして。入口で手を消毒して礼拝堂に入ります。牧師が説教時にマスクすべきかどうかは「？」です。司式者もマスクを外しますが。	3月、4月と行っていません。	歌っています。勿論マスクをして。	すべて中止していません。祈祷会は近隣の者のみで4月から十分な配慮をして再開します。	不安はあるが落ち着いている。高齢者、子ども、基礎疾患者、遠距離の方は欠席、通常より20名前後少ない。求道中の方がおり、礼拝出席、週日の牧師との対話、電話等で勉強中。切実に求めているので礼拝を中止できません。	長老たちと心を合わせて連絡を密にしています。	礼拝出席が困難な方々に宛てて、牧師が毎週「牧師室から」で、教会の様子、「先週の説教から」でメッセージの一部を全員に郵送。会えなくても、キリストの体の一部として繋がっていることを互いに確認し合い、励まし合っている。
4	大和教会	礼拝は継続。今後も中止の予定なし。受付に消毒液、会員は全員マスクを着用。礼拝後のコーヒ(紙コップ)と菓子の用意や止め、水分補給のためのお茶だけ用意。席は元々イスをひとつおきに空けて座り60cmほどの間隔。	但し、パンはそれぞれ指が、触れない程度に一つ一つを離して、置いて、配餐。杯も、用意と配餐に細心の注意を払っている。	会堂内の換気にも気を配り、礼拝後は、窓を開けて空気に入れ替えを行っています	祈祷会は、予定通り。ただし、4月からは「学び」を止め、時間を短縮。イースター祝会および4月26日の牧師感謝会は、会食をしない。委員会の打ち合わせや作業は、風通しを良くした場所で、短時間で行う。	80代の元長老夫妻が大事をとって欠席している他は、出席者数に大幅な減少は見られません。	特になし	中会内の教会・伝道所がこの事態によって、礼拝・聖餐を止めることなく、霊的な命を保つことができるように。「試みにあわせず、悪より救い出し給え」が、教会の祈りです。

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
5	横浜桐畑教会	礼拝は実施。なるべく座席を開ける。マスク着用。礼拝直後の換気	行わない	マスク着用のまま歌う	主日以外の集会は全て休止	礼拝出席人数は普段とあまり変化ない	現在はないが、今後のことは心配。しかし主に委ねるしかない。	野宿生活者や外国籍住民(特に技能実習生)の健康が守られるように。
6	鶴見教会	通常通り、ただし時間的に少し簡潔にすることを心がけて、行っています。玄関での手指の消毒、礼拝堂の上窓を開放しての換気に心がけています。	準備奉仕者の手袋、マスク、配餐者にマスク着用をお願いして行っています。 4月第一主日の聖餐式については取りやめます。	讃美歌は一節全体の奏楽に続き、歌詞を交読しています(司会者1節、会衆2節・・・)	祈祷会は会場の換気に気を付けて行っている。共同の飲食は取りやめ、諸集会は不要不急のものは中止ないし延期。日曜学校は3月29日は休校。	3月に入って出席者は高齢者、自分や家族に病気を抱えている人、往復の公共交通機関に心配のある人など、礼拝出席を控えています。		礼拝の出席者も今は控えざるをえない人も、不安と緊張に満ちた日々の中で落ち着いた信仰生活ができるように。
7	浦和教会	3月29日～4月26日の5週間、対面礼拝を休止。礼拝は「浦和教会 blog」にて日曜10時30分からライブ配信(YouTube配信)。全会員に毎週「浦和通信ハガキ」を郵送。アナログのみの会員も繋がっている実感を持って貰いたい。	3月から中止にしています。	各曲2節まで。曲数は同じ(3月22日まで。29日以降は、讃美歌無しの説教と祈祷を中心としたWEB礼拝)	2月中旬から全ての集会を休止。定期小会のみ開催予定(遠距離の長老はウェブ会議で出席)。祈祷会に「ZOOM」を使用したウェブ会議形式が可能か準備をしている。			「葬儀に関する緊急ガイドライン」を作成。様々なケースに対応出来るようにした。基本は火葬のみを提案。ウイルス終息(収束)後に記念会を提案する。
8	仙台黒松教会	通常どおりおこなっています(時間・場所)。礼拝前にドアノブや椅子などを殺菌消毒。できるだけマスク着用。窓を開けて換気。寒い人は上着を。	3月は中止。4月5日中止。4月12日のイースターについては、5日の小会で協議。	(できるだけマスクを着用した上で)通常どおり。	祈り会は通常どおり。距離を取って座り換気。イースター祝会を中止。礼拝後のお茶の交わり休止。日曜学校教師会は通常通り。ぶどうの会(交わりの会)打合せは見合せ。	大事を取って休む人が増えた。特に礼拝出席者は半減。教会HPにアップしている礼拝説教を聴いている方が何人もいる。	終息が見通せないこと。	一人一人が信仰を失わず、キリストの体なる教会を建て上げていくこと。インターネットやSNSを通して御言を広く深く分かち合う方法を試行錯誤しながら見出していくこと。
9	多摩ニュータウン	通常通り。換気と手指の消毒に関しましては協力をお願いします。ただし3月の昼食及び午後の集会は中止または延期。4月に関しては、委員会で検討するところ。	3月は行った。4/5,4/12(イースター)を中止しようと考えている。	通常通り	祈祷会は継続。日曜学校も継続(参加者は教師を除いて1名)。午後の集会和昼食の用意は中止または延期。	特になし。	ありません。	
10	上田教会	礼拝中に換気を行なう。前後の窓を数分間あける。	3月の聖晩餐は、トングを用いて配餐し、陪餐者の手のひらに落とす。その後、しばらく聖晩餐を休むことを公示した。	歌わない。奏樂者が三回繰り返すなかで、心で讃美。	祈祷会、諸集会は3月から全て休会とした。小会の時間を短縮するために「学び」を省いた。日曜学校教師会も「学び」を省いた。	来ることができる者は礼拝を捧げている。無理をしないことを訴えている。	現在の時点では特になし。	主の守りの内に各人がなすべき衛生対策に努力し、与えられた日毎のつとめ、継続的つとめを今までどおりにはたすことができるように。世界中の医療問題、経済問題を打開するため主が正しい知恵を授けて下さるように

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
11	大森教会	通常どおり行っている。	通常どおりだが、配餐者はマスク着用。聖餐式文の配餐までの式文読み上げは講壇から行い、配餐時に聖餐桌に降りる。	通常どおり歌っている。	祈祷会(午前)、聖書研究祈祷会(午後)、日曜学校は通常どおり。その他の集会は適宜判断(読書会〔第3土曜日午前〕は3月休会；入門講座〔第二主日礼拝後〕は通常どおり)。	それぞれ心配をしながら参加をしていることがわかるが、教会が慌てふためいては恐れと不安をおさめられない。現実を直視しながら、現実に関心を持って乗り越えて行くもの、自分たちの神はこの現実をも支配しておられるという信仰がどこか薄れてしまい、神と現実とが切り離されてしまっている状況下神を礼拝しても仕方がないというこの世の思いに取り込まれてしまっているか心配である。	特にありません。ただ、礼拝を休止するという苦渋の決断を下さった教会・伝道所があることが少しずつ知られるようになり、それが独り歩きして、うちもやめようと思える者があつてこないか心配である。休止の決断をした教会・伝道所も、それを補うためにとられているのか、工夫と配慮がさまざまになされていることと合わせて知りたいところである。	仕え合い、いたわり合う教会であり続けるように。向き合い、語り合い、励まし合うことを可能とするSNSなどの現代の手段(ツール)を持ち合わせていない者らへ、牧会的配慮が行き届くように。
12	稲田堤伝道所	いつもどおり	行わない					
13	福島伝道所	いつもどおり(福島市に感染者が出ておらず、いつも通りに行っている)	いつもどおり。		伝道所委員会も開催予定(議長:渡部静子)伝道局問安(小坂先生、野木先生)は中止。			
14	つくばひたち野	3月29日まで礼拝は通常どおり。説教者にはマスクをお願いしている。4月5日の礼拝は中止予定。イースター礼拝は思案中です。	4月の聖餐式はおこなわないことに決めました。	讃美歌は通常どおりですが、マスクをして歌っています。	3月8日から祈祷会と諸集会は中止しています。	水戸からJRを使用して来られる会員2名は、感染防止のため来られません。	引退教職に遠くから公共交通機関を使用してもらうのを避け、退職した山下廣先生が説教奉仕。山、今後の説教奉仕者を迷っている。	神の言葉を述べ伝える礼拝を中止することになり、断腸の思いです。聖日の礼拝を行える日が1日でも早く来るように祈ってください。
15	宇都宮松原	現在は通常通り。2月の大会議長書簡の注意事項を週報に掲載し、次週には、小会からの文書を作成・配布した。持病のある方、高齢者は礼拝出席を見合わせるように勧められています。	行っています。ただ、準備時と配餐時の消毒を慎重に。	通常通り。	礼拝後のグループによる祈り会は中止。週日の祈り会は少人数のため通常通り。地区の超教派の集会は延期。集会時の食事会も見合わせ。	高齢者と基礎疾患を持つ人は礼拝を休んでいます。	礼拝欠席者にどのように福音を届け、牧会していくのか、また、施設入居の高齢者を訪問できないこと。いつ収束するか見通しが立たないので、行事予定が立てられないこと。	一日も早く収束して欲しい。感染者とその家族のために。過度に不安や思い煩いとらわれないために。
16	小平教会	3月22日までは、時間を少し短くして、通常どおり行っていました。3月29日の礼拝は、27日(金)に中止することに決定、連絡網でお知らせしました。	3月1日は長老と相談の上行った。これからは未定。	通常どおり歌っていました。全員マスク着用しました。	祈祷会等日曜日以外の集会や面会日などすべて中止。日曜日の集会は行っていました。その際、茶菓子の提供を中止。	落ち着いて通常どおりの人が多いです。自粛して教会に来ないようになっている人もいました。		

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
17	恵泉伝道所	特に工夫はせず通常通りに行っています。	3月の聖餐は通常通り。4月以降の聖餐は要検討。	通常通り。	通常通り。	この状況がいつまで続くのか、先の見えない不安。		高齢の会員、老人ホームの会員が外出できず接触制限など、不安・ストレスの蓄積、健康への心配。
18	袋井愛野恵み	通常どおり。換気には気を付けています。(礼拝堂にはドアがありません)個人的には、マスク着用している方が増えました。	3月行いました。また4月も通常通り行う予定。通常前の聖餐桌に集まって牧師が手袋をつけて個人の手を渡す方法。次回からはやり方を工夫する必要があります。	定員60人の会堂に今は特に出席者が少なく10人前後。なるべくバラバラに座るようになっている。	祈禱会も3,4人ですが、マスクを着用している人もいます。			
19	府中中河原	3月29日から4月26日まで礼拝休止を決断した。						
20	柏木教会	3月29日から一定期間の礼拝休止を決定。						
21	鎌倉栄光教会	3月8日～29日は礼拝を休止。牧師から礼拝休止中の主日の聖書日課と祈禱文を、連絡網を用い、メール・Fax・ハガキによって教会員に伝え、各々家庭での礼拝を奨めた。	行わなかった(3月1日)	通常7～8曲のところ、3曲に削減(3月1日)	主日礼拝後の諸集会(小会含む)は、3月1日以降、週日の諸集会は3月4日以降、休会。小会と執事会は、メール交換で行った。	礼拝休止が長期にわたり寂しいとの声。他教会への出席者もいる。連絡が行き届かず主日に来てしまう人も。市民社会への協力、という意味で礼拝自粛は概ね教会員の理解は得られている。一方礼拝を守る姿勢を貫くべきとの思いが投げかけられている。	4月以降の予定(受難週の集会、復活祭/イースター、教会学校の新体制、墓前礼拝等々)の見通しが立たないこと。	新型コロナウイルス感染によって亡くなった方々とその家族のために祈る。新型コロナウイルス感染による被害が一日も早く収束するよう。重苦しいこの世の情勢の中に生きる今こそ主の受難の意義をさぐりつつ、復活の希望に向かって、祈って過ごしたい。
22	荻窪北教会	3月22日(日)までは、換気や衛生上の注意をしながら、ほぼ通常の礼拝。3月29日(日)は、休止。今後は、改めて小会を開催し決定する予定。	配餐者がビニール手袋をはめ、食パンではなく、既に小さく切ったものを使い、配餐者が取って渡す方法。グラスも使い捨てのプラ容器にして実施。今後は要協議。	讃美歌ごとに、一番だけオルガン奏楽。その後全てを交読文形式で読み上げる形式。	休止した集会もありますが、短い時間で行えるものは実施。	普段とあまり変わらず。29日(日)の礼拝休止に関して、礼拝を行っている教会への出席を希望する方もあったようです。	今のところ特になし。今後、礼拝休止が続くとすれば、どのような方法が考えられるのか、諸教会・伝道所の対策を参考にしたい。	差別や疎外、暴力的な行為が広まらないように。教会生活離れが、信仰生活離れへと繋がらないように。世界中に広まる災いを主が治めて下さるように。
23	秋田教会	体調の悪い人は無理しない。換気をする。マスクをなるべく着用。アルコール消毒。椅子1本に二人の着席。礼拝終了後は速やかに帰宅。受難週祈禱会、イースター礼拝の聖餐式は行わない。祝会は行わない。	執行する。準備者は準備の直前に手洗い・アルコール消毒、マスクとナイロン手袋を着用。パン・葡萄液は不足しないぎりぎりの数を準備し、盆の上での間隔をあける。	通常どおり歌う(できる限りマスクを着用して)	小会・執事会・祈り会は空間が広いラウンジで、短時間で行う。(婦人会・壮年会)は出席者が多いことから、当面休止。青年会、初心者の集い等はこれまでどおり行う。	今のところ影響は見られない。	今のところ特になし。	秋田教会に限った場合は、会員が守られますようにということ。

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
24	志木北伝道所	(3月29日時点)換気扇により換気をし、全員マスク着用で、家族以外は離れて座るようにして行なっている。ドアノブとトイレは集会の前後に消毒。換気扇は教会堂1階の空気を1時間に約7回入れ換える能力があります。説教の音声をホームページで聞くことができるようにした。	3月は聖餐の前後に器具のアルコール消毒を行なって、第一主日に行いました。4月第一主日は行わず、それ以降については未定です。	讃詠や頌栄は通常どおり歌い、説教前と説教後の讃美歌は1節だけ歌います。	(3月29日時点)祈祷会は、会場を集会室から礼拝堂に変更し、換気扇により換気をして、全員マスク着用で行っている。女性会等は休会。	高齢の教会員や高齢者や基礎疾患のある家族をもつ教会員の中に、礼拝出席を控える人がかなりいます。他方、熱心に礼拝出席を続ける客員や求道者がいます。	現在のところありませんが、今後の状況によっては、教会堂での主日礼拝と祈祷会を休止し、家庭礼拝にせざるをえないだろうと委員会で協議しています。	ウィルスのために苦しむ人々に主の御守りがありますように。 困難な状況の中でも御言葉を宣べ伝え続けることができますように。
25	上溝伝道所	通常通り。礼拝者は会堂後部に各自離れて、着席するよう心掛けている。	準備をする奉仕者は、通常より手洗いを十分にしている。	通常通り、歌っている。	出席者が少数のこともあり、通常通り、開催できている。	話題にはなるが、特段の影響はない。教会へは自転車利用のこともあり、集会出席には影響がない。	相模原市は感染多発地のため外出に注意している。市内の二つの中核病院、福祉事務所、横浜線相模原駅等に感染事例があり、緊張を強いられている。	相模原が更なる感染拡大の拠点地にならないように、と願っている。
26	東京中央	全体が1時間で終了するように工夫している。座席が密接しないよう1m以上空けている。消毒、手洗いが出来るように工夫している。	礼拝前後に用具の消毒をていねいに行なっている。	通常どおり。	通常どおり。	高齢者、遠距離出席者の出席が困難になっている。	マスク・消毒液の入手が困難。	一日も早く終わるように祈りを合わせている。高齢者が支えられるように。
27	静岡池田	礼拝者が少ない(10名前後)ですので通常どおりです。玄関に消毒液、始める前に机、その他にアルコール液の吹きつけを実施。	第一主日に行なっている。	通常どおり。	祈祷会は礼拝後1名の祈りで実施(月2回)。	特に影響はありませんが、新幹線で来られる婦人のご主人は控えるように要請されているようです。	無牧ですので、応援牧師の状況を心配しています。	遠方から電車で来られている会員の感染が心配です。